

令和6年度
第3回

市民、医療者、行政が一緒になって学び、考え、理解を広げる地域医療セミナー

鶴岡まるっと地域医療

休日夜間診療所と救急搬送



鶴岡市の救急搬送の現状

～要請基準と適正利用を学ぼう～

小池 敏明 氏

鶴岡市消防本部 消防次長兼消防署長 救急救命士



限りある医療資源を

分かち合うために（仮）

菅原 真樹 先生

鶴岡地区医師会 副会長・茅原クリニック 院長

参加
無料

日程

2025年 2月 8日（土曜日）

時間

14:00～16:00

会場

鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる3階大会議室

〒997-0033 山形県鶴岡市泉町5-30



お申込み

※申込締切日 1月31日（金）

いずれかの方法でお申込ください

①QRコード 携帯電話でQRを読み込みフォームに入力し送信

②電話→080-3144-7527（事務局：瀬尾）

③E-mail→info@seojimusho.com

E-mailの場合

【件名】第3回鶴岡まるっと地域医療申込

【本文】氏名・ふりがな・住所・連絡先電話番号 を記載し送信



主催：鶴岡市

受託者：株式会社瀬尾医療連携事務所



「鶴岡まるっと地域医療」ってなに？

令和元年～3年に実施した「鶴岡市地域医療を考える市民委員会」で、3つの市民アクションをまとめました。その市民アクションを実践するために市民が地域医療を知り一緒に考える場として「鶴岡市地域医療市民勉強会」を実施することになりました。鶴岡市地域医療市民勉強会の名称が「鶴岡まるっと地域医療」です。令和4年から開始し、今年で3年目になりました。

鶴岡市の「地域医療の未来像」に向けた「3つの市民アクション」

地域医療の連携の仕組みを理解しよう

私たちが日ごろから利用している医療や福祉、介護予防やケアについて、その連携の仕組みを理解することで、安心して医療を受けることが出来ます。

自分たちが受けたい医療を考えよう

病気になったことを想定し、病気の基礎知識やその後の暮らし方などを考えることで、自分に合った療養生活を選択できるようになります。

ともに考え、行動する仲間になろう

地域医療に関心を持つ人が集い、交流しながら、地域医療を守るために市民一人ひとりが出来ることを、ともに考え、行動する仲間になろう。

市民・医療者・行政と一緒に学び・考える場を実践します。



どうして地域医療を学ぶの？

鶴岡市では、すべての人が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを安心して続けることができる地域社会の実現に取り組んでいます。

健康で暮らし続けることは、私たちの基本的な願いであり、医療は私たちの生活に密接に関わっています。私たちが自分らしい暮らしを最期まで続けるためには、鶴岡市の医療資源を知ることや自分の健康状態に合わせて医療・介護と上手に付き合うことが大切です。健康なうちに地域の医療資源の情報（役割・強み）を得て、あなたや家族の“備え”にしましょう。



どんな人に参加してほしいの？

- ・ 医療や介護分野の職業を目指す高校生
- ・ 子育て世代のパパ・ママ
- ・ 高齢な親が心配になってきた働き盛り世代
- ・ 元気なシニア世代
- ・ 鶴岡の医療が気になる方のすべてが対象です

令和6年度は4回開催

- 第1回 11/19 (火) 世代を超えて話そう
- 第2回 12/ 9 (月) 救急医療について
- 第3回 2/ 8 (土) 休日夜間診療所
- 第4回 2/22 (土) 健康のまちづくり (仮)



令和4年から座学とワークで学んでいます



今すぐ登録



鶴岡まるっと地域医療の専用LINEオープンチャットに登録ください。開催案内をタイムリーに入手できます。

問合せ先



地域と医療がつながる拠点

瀬尾医療連携事務所

株式会社瀬尾医療連携事務所

〒997-0034 鶴岡市本町1-7-45 まちづくりスタジオ鶴岡Dada 3階

メール：info@seojimusho.com